



令和 4 年度

三十三ふるさと三重文化賞

公益財団法人 三十三ふるさと文化財団



令和4年度三十三ふるさと三重文化賞
美術部門(写真)

たなべ さぶろう
田邊 三郎
(津市在住・73歳)

受賞者のことば

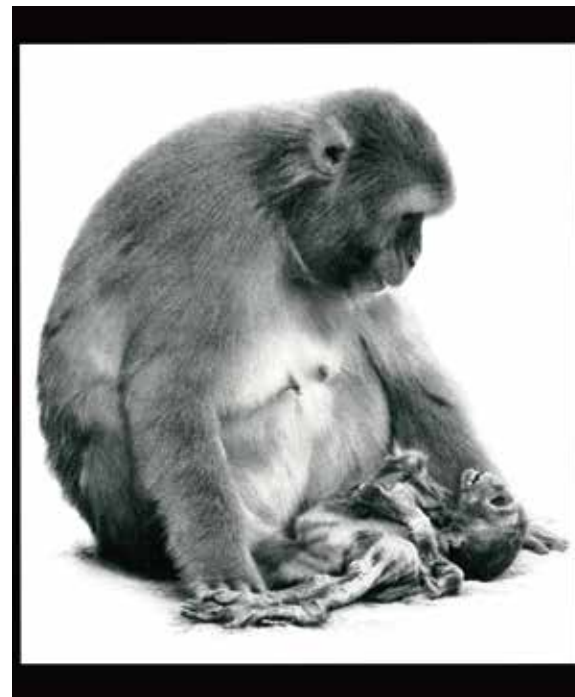
コンテストや展覧会に応募した作品が入選や入賞する喜びも大切ですが、写真をする楽しさを伝え、愛好者を増やしたい思いで、写真教室や公民館講座、各地の写真グループ月例会に出向いての活動をしてまいりました。この度の受賞は、積み重ねてきた活動に対して頂いたものと思っています。今後も微力ながら地元文化に少しでも役立てれば幸いです。

略歴・活動歴

- 1970 作家活動開始
- 1977 個展「ヨーロッパふれあい紀行」
- 1984 全日本写真連盟 三重県本部委員
- 1985 久居市展審査員 運営委員(～2005)
- 1994 久居市中央公民館 写真講座講師(～2000)
- 2004 津市美術展審査員(～2018)
- 2004 全日本写真連盟 中部本部委員(～2022)
- 2005 二科会写真部 会友
- 2006 津市美術展実行委員(～2022)
- 2007 鈴鹿市展審査員(2012、2015、2016、2021)
- 2007 津市文化振興基金運営委員(～2022)
- 2008 松阪市展審査員(2009、2012、2015、2016)
- 2012 亀山市美術展審査員(2013、2014、2015)
- 2014 市展いが審査員(2015、2019、2020、2021)
- 2013 二科会写真部 会員
- 2013 写真集「いきものかたり」出版
- 2016 二科会写真部三重支部長(～2019)

主な受賞歴

- 1974 みえ県展 知事賞(最優秀賞)
- 1976 二科展写真部展 特選(2005)
- 1987 カメラ雑誌 年度賞(1989)
- 2015 三重県文化賞 文化奨励賞
- 2017 国際写真サロン 入賞
- 2018 全日本写真展 銀賞
- 2020 国際写真サロン 入賞



母情(1976年)



露地(1978年)



祠守り(2021年)



令和4年度三十三ふるさと三重文化賞
美術部門(日本画)

ふじた てつや
藤田 哲也

(桑名市在住・44歳)

受賞者のことば

四季の移ろう日本では、日本画材の扱いが難しく、チューブから色が出る訳ではありません。にかわを温め、岩絵具と混ぜて練る。それを紙や絹へ着色する。この日本、三重に生きる私にとって、先達の描き方を続けることが、文化の継承になると共に、地域文化の向上へと繋がる道になると信じています。

略歴・活動歴

- 2001 愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻 卒
- 2003 愛知県立芸術大学 大学院 修了
- 2004 愛知県立芸術大学 研修生 修了
- 2007 日本美術院 院友推挙
- 2014 愛知県立芸術大学 模写制作代表(現在に至る)
- 2015 両界曼荼羅(埼玉県川口市密蔵院)
- 2017 北斎大達磨絵(本願寺名古屋別院)パフォーマンス
- 2018 北斎大達磨絵(イタリア、フランス)パフォーマンス
即興大書家として県内小学校にて出前授業を行う
(以降毎年)
- 2020 個展「藤田哲也展～三重を描く～」
(松坂ギャラリーMOS)
- 2020 長篠長久手合戦図屏風模写(2024年完成予定)
- 2021 個展「藤田哲也 日本画展 心の風景」
(松菱百貨店)
- 2021 唐招提寺御本尊作成(2025年完成予定)
- 現在 日本美術院 院友、愛知県立芸術大学 模写制作代表、
非常勤講師、日本画教室「久波奈会」講師、
全国百貨店、美術館にて個展、グループ展多数
県内市民展審査員歴任

主な受賞歴

- 2001 春の院展初入選
臥竜桜日本画大賞展 奨励賞
- 2002 院展初入選
松伯美術館花鳥画展 優秀賞
- 2005 雪舟の里墨彩画公募展 特選
- 2006 てんびんの里日本画コンクール 大賞
- 2009 第62回みえ県展 あなたが選ぶ作品賞
- 2010 みえ県展 最優秀賞
- 2019 三重県文化賞 文化新人賞



雪ニモマケズ(2020年)



遙か(2022年)



永久に青く(2022年)



令和4年度三十三ふるさと三重文化賞

人文・民俗部門 (考古学・史蹟)

いとう とくや
伊藤 徳也

(四日市市在住・61歳)

受賞者のことば

「城ブーム」といわれる中、「御城印」を求めて各地の城を訪れる方が増えています。確かに、以前に比べれば天守や石垣がない城にも人の姿が見られるようになりました。とはいえ、全国には存在すらほとんど知られていない城が何万と残っています。そんな城を地域の歴史を紐解く資史料にできれば、そう考え調査してきました。

略 歴・活動歴

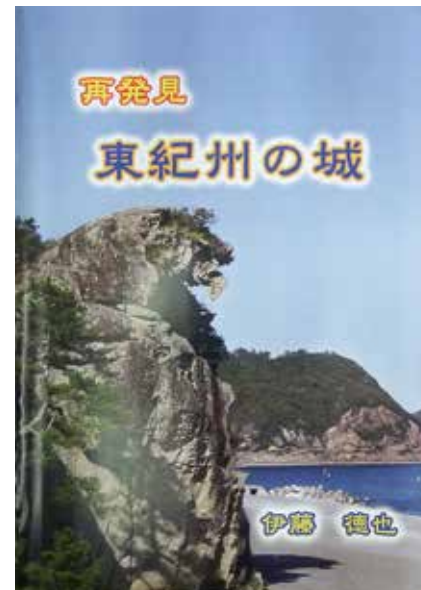
- 1984 名古屋大学文学部史学科 卒
- 1991 県内史蹟の研究及び測量調査開始
いなべ市、桑名市、四日市市、鈴鹿市、員弁郡、三重郡 90城を測量調査(～2007)
- 2003 多度町歴史講座講師
- 2008 『北伊勢国の城』出版
伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡、北牟婁郡、尾鷲市 76城を測量調査(～2011)
- 2011 熊野市、南牟婁郡、新宮市、東牟婁郡 80城を測量調査(～2013)
- 2013 松阪市、多気郡 86城を測量調査(～2020)
三重県埋蔵文化財センター嬉野分室考古学講座講師
- 2015 津市、亀山市等 125城を測量調査(～2022)
『志摩、南伊勢の城』出版、四日市市采女城保存会歴史講座講師
- 2016 松阪市大河内公民館講座講師
- 2017 飯南町粥見地区歴史講座講師、志摩市歴史講座講師
- 2019 『東紀州の城』出版
- 2022 『奥伊勢の城』出版
- 2023 伊賀市、西濃南部、和歌山県西牟婁郡において調査開始(現在に至る)



北伊勢国の城(2008年)



志摩、南伊勢の城(2015年)



東紀州の城(2019年)



奥伊勢の城(2022年)



「三十三ふるさと三重文化賞」について

当財団は、三重県の文化芸術の振興に優れた活動や顕著な貢献をされた個人・団体に対し、その功績を称え、地域の文化芸術の発展に寄与することを目的に、「三十三ふるさと三重文化賞」の顕彰を行っております。



■ 法人概要 ■

名 称	公益財団法人三十三ふるさと文化財団
理 事 長	岩間 弘(株式会社三十三銀行 取締役会長)
所 在 地	三重県四日市市西新地7番8号(三十三銀行本店内)
設 立	平成2年1月26日
目 的	文化芸術及び奨学金助成に関する事業を行うことにより、三重県の文化芸術の振興並びに地域社会の健全な発展に寄与することを目的としております。
事業内容	(1) 文化芸術に関する事業 (2) 奨学金助成に関する事業